



分散登校の一コマです

SAKURA

No.16

はまぐち

オンラインで学び続ける！



★みんなとなら「できる！」★

①夏休み明けの8月30日(月)

オンライン学活で、みんなのZoomへの入室確認をしました。「〇さん、まだ入ってきてないなあ。」「△さん、顔が写っていないなあ。」などの声が先生たちからあったものの、職員室から電話連絡を入れて、おおむね順調なスタートでした。

②分散登校実施8月31日(火)

学級を奇数番号・偶数番号の2班に分け、午前と午後に学活を行いました。

自由研究やポスターなどを大事に抱えて、汗をかきながら登校してきたみんなの元気な表情を見て、先生たちみんなでひと安心。大きな声は出せませんでした。学校全体が活気づきました。翌日からのオンライン学習に向けて、iPadの操作の仕方を再確認しました。



③オンライン授業開始9月1日(水)

Zoom入室を確かめて朝の会を行った後、いよいよオンライン授業の開始です。午前中4限。午後1限の課題学習。基本的には各学年で共通の教科授業を進めることにしました。

授業を開始してみて、先生一人で授業を進めるよりも、ペアやチームで進める方が、画面への映り方の確認、接続のトラブル対応や参加の様子の見守りがしやすいということがよく分かりました。試行錯誤して、先生たちはよりよい方法を探ってくれています。頼もしいなあと思っています。

先生たちが準備に一生懸命なのは、画面に映るみんながしっかりと授業を受けていることを感じとっているからです。

みんなで前に進んでいこう！

これから先のことは？

- 緊急事態宣言が12日(日)に解除になるかどうか、13日(月)から学校再開になるかどうかは、まだ分かりません。国の判断や教育委員会からの指示を受けて、今後も学校として急な対応を進めなければならないことが起きてくること予想されます。
- みんなのiPadや学校HP、保護者の皆様への「すぐメール」等で連絡をする機会があると思います。大事な連絡はまず、「すぐメール」でお知らせします。画面チェックをお願いします。



三重県に引き続き「緊急事態宣言」発出中！ 8月27日(金)～9月12日(日)

みんなの「感動体験文」届いています♪

- ◆夏休み中に「感動体験文」を提出してもらいたいと発信しました。
- ◆少しずつ「ロイロノート」や用紙で提出してくれています。
- ◆提出作品はそのたびに、読ませてもらっています。「東京五輪のこと」「高校野球のこと」「家庭での出来事」など、テーマはさまざままで、とても楽しいです。
- ◆読みながら、「すてきな感じ方だなあ。」「えっ、そんなことがあったの?!」「よかったなあ。」と心が動いています。
- ◆提出が完了したら、全作品の「題名」と「とっておきの一文」を紹介し、「感動大賞」を選びたいと思います。
- ◆提出締切をもう一度確認します。
 - ・ロイロノートで提出する場合⇒9月12日(日)
 - ・用紙で提出する場合 ⇒9月13日(月)【学校登校時】

コンセプトは…

12歳～15歳の今だからこそ、感じとれる感動的な「人との出会い」や「言葉(歌詞もOK)との出会い」などを自分の言葉で書く。



中3のパラリンピアン **山田美幸**選手に感動



座右の銘は「**無欲は怠惰の基**」

東京パラリンピックで、**中学3年生の山田選手が大活躍したのをみんなは知っているでしょうか？**

競泳女子50m背泳ぎ(運動機能障害S2)で、銀メダル(タイム1分6秒98)を獲得しました。日本勢最年少のメダリストとなった100m背泳ぎの銀メダルに続き、見事2個目のメダルです。

山田選手は生まれつき両腕がありません。水中では、長さの違う両脚を回すようにキックを打って前進します。両脚だけで泳ぐことのたいへんさは想像もつきません。つらいこともたくさんあったと思います。それでも彼女はいつもエネルギー満ちです。受賞後のインタビューの場面でも笑顔がさわやかで、受け答えもとてもはきはきしていました。「**メダルの重み、パラリンピックの舞台で泳ぐ気持ち良さ、全部実感できて楽しかったです。**」と話していました。

次の目標は「**志望校に合格することです。**」ときっぱり！いつも心に置いている言葉(座右の銘)は、「**無欲は怠惰の基**」だそうです。山田選手いわく、「人は欲(目標)をもたずにいると、怠けてしまう。そうならないように、いつもこうしたいという欲をもって前向きにいたいです。」と。将来の夢は「**外交官になること**」だそうです。未来を見ているすてきな選手です！

パラリンピック

●昨日9月5日に閉幕しました。陸上競技の女子走幅跳(義足T63)と100mに出場した**三重県出身の前川楓選手**を応援してくれていた人もたくさんいたと思います。2年前に本校に講演に来てくださったと聞きました。

●前川選手は走幅跳で見事、5位に入賞(記録4.23m)！「**最大のパフォーマンスは出せた!**」とすがすがしい笑顔でした。



<保護者の皆様へ>

コロナ禍における様々な臨時対応に、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。まだまだ先のことが見通せない段階ではありますが、お子様の命と健康、これからのことを大事に考えてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。